

第 13 回 みんなで語ろう！～いなむら市長とともに 車座集会～

テーマ型「公営競技（園田競馬）と園田地区のまちづくり」

1 公営競技の目的

- ・ 公営競技は、その収益金がまちづくりに必要な財源等に充てられ、社会福祉の増進等に貢献している

2 園田・姫路競馬場の沿革

- ・ 昭和 5 年 現所在地に園田競馬場が開設
- ・ 昭和 23 年 公営競馬となる
- ・ 昭和 55 年 兵庫県・尼崎市・姫路市の 3 者により、兵庫県競馬組合が設置

3 これまでの実績等（昭和 55 年～平成 16 年）

項目	金額	使 途
兵庫県・尼崎市・姫路市への配分金	741 億円	県への配分金と両市への配分金の一部は、県下の市町に対し、道路整備、生活環境・住環境を整備
（うち尼崎市分）	76 億円	農業公園を含む公園整備、市街地再開発等

別途、園田競馬場周辺整備事業あり。

4 競馬事業の状況

- ・ 開催日数：年間約 160 日
- ・ 売上状況：ピーク時の平成 3 年度には 1,187 億円の売得金（売上）を記録。その後、全国的な地方競馬の低落傾向の中で売得金は減少傾向

5 競馬事業活性化の取組

- ・ 厳しい経営状況を踏まえ、競馬事業の活性化方策や今後のあり方を内容とする「競馬事業の活性化に関する報告書」を平成 20 年 1 月に公表。この中で、競馬事業の存廃について、単年度収支の赤字が発生した年度から 5 年間を見極め期間として、その期間の単年度収支の累積額により判断
- ・ 平成 22 年度の単年度収支が 5 億 5100 万円の赤字となり、平成 22 年度から見極め期間がスタート（26 年度まで）
- ・ こうした状況を受け、競馬組合では、競馬事業の活性化策としてナイトー競馬の実施に取り組むこととした

- 平成 24 年 9 月 7 日に園田競馬場でナイトー競馬を初開催（平成 24 年度は 9 月 7 日～11 月 9 日毎週金曜日の計 10 日開催、平成 25 年度は 4 月 5 日～11 月 8 日毎週金曜日の計 32 日開催予定）

6 ナイター競馬の実施状況

- ナイター競馬開催時は午後 2 時開門、午後 9 時頃閉門
- ナイター競馬の 1 日平均来場者と売得金の状況は下記のとおり。

	本場来場者	売得金	(うち本場)	(うち在宅投票)
H25 実績	3532 人	1 億 9402 万円	6184 万円	9146 万円
H24 実績	4421 人	1 億 6216 万円	6303 万円	7096 万円

平成 25 年 10 月 11 日まで

7 園田競馬場周辺整備事業

(1) 事業概要

- 昭和 56 年度に尼崎市と兵庫県競馬組合は、「園田競馬場周辺整備事業に関する覚書」を締結しており、競馬場周辺の渋滞対策や住環境の改善を目的として、尼崎伊丹線以東・山手幹線以北の都市計画道路や公園などの整備を進めている。
- 兵庫県競馬組合は、事業費のうち 2 分 1 を負担している。

(2) これまでの実績（昭和 56 年度～平成 24 年度）

項目	金額	事業箇所
園田競馬場周辺整備事業	約 207 億円	【道路】尼崎豊中線、食満庄内線、園田豊中線、神崎橋伊丹線他
(うち競馬組合負担金)	約 103.5 億円	【公園】農業公園、佐璞丘公園、法界寺公園、猪名川公園他

(3) 平成 25 年度の事業予定箇所

- 事業費 7,480 万円
- 対象事業 (道路)・・・尼崎豊中線、園田豊中線、神崎橋伊丹線
(公園)・・・富田公園、西浦公園、東園田公園
- なお、地元要望を受けて、事業箇所の追加変更あり。

(4) 事業費の推移

- 当初、昭和 56 年度の事業費は 8 億 5 百万円。
- バブル期の平成 2・3 年度の 10 億 4 千万円がピークでその後減少。
- 平成 23 年度以降は 7,480 万円（ピークの約 7%）まで落ち込んでいる。

以上